

令和2年度 決算

令和2年度の一般会計、特別会計、企業会計の決算が、市議会
で認定されました。

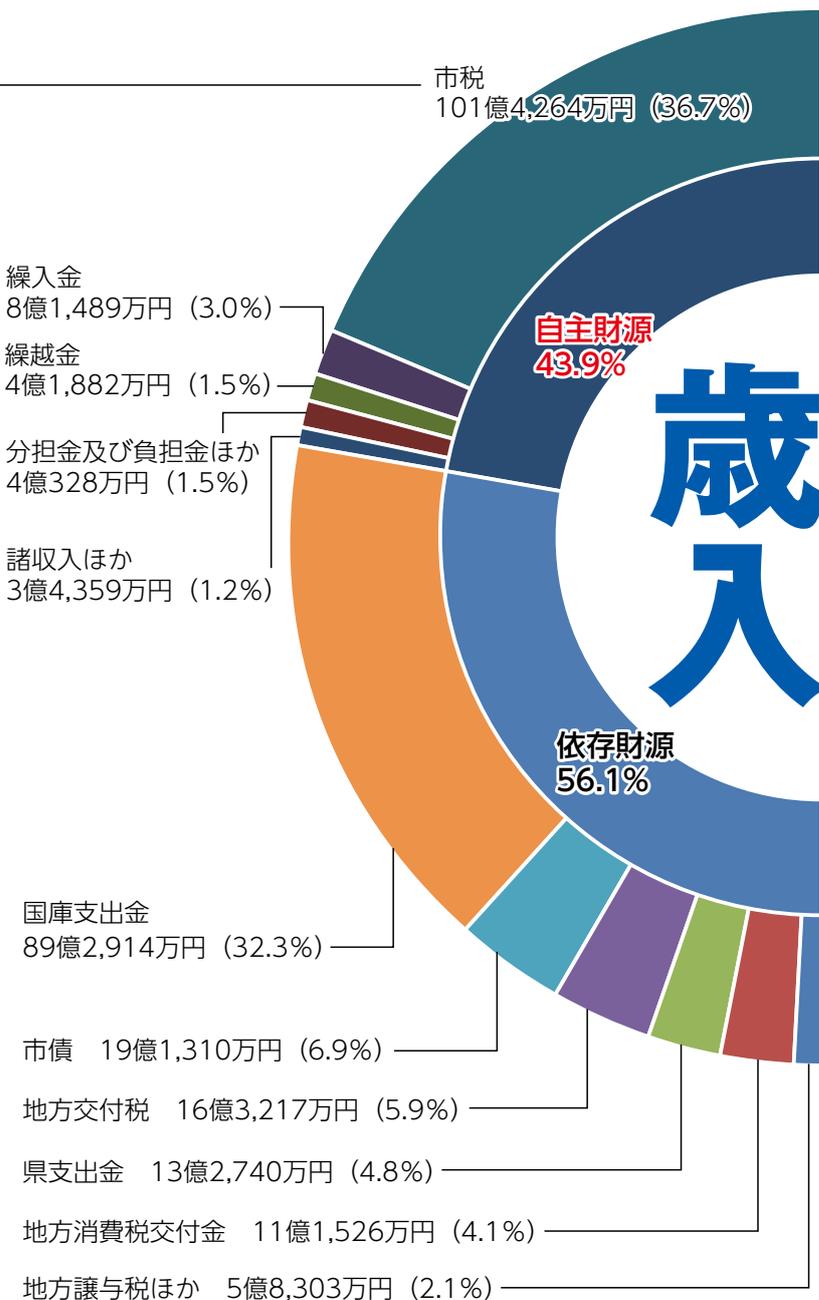
第2次総合計画前期基本計画の4年目として、第2次実施計
画の着実な推進と行財政改革による財政健全性の確保の両立を
図りつつ、新型コロナウイルス感染症の総合対策の推進に努め
ました。

「令和2年度つうしんぼ」では、皆さんに納めていただいた税
金や国・県支出金がいくらで、どのように使われたか、また市の
財政状況はどうなっているのか、詳しくお伝えします。

歳入 276億2,332万円

市税の内訳

種 類	決算額
市民税	32億9,665万円
固定資産税	56億 594万円
軽自動車税	1億7,011万円
市たばこ税	3億1,665万円
特別土地保有税	30万円
入湯税	228万円
都市計画税	7億5,071万円
合 計	101億4,264万円

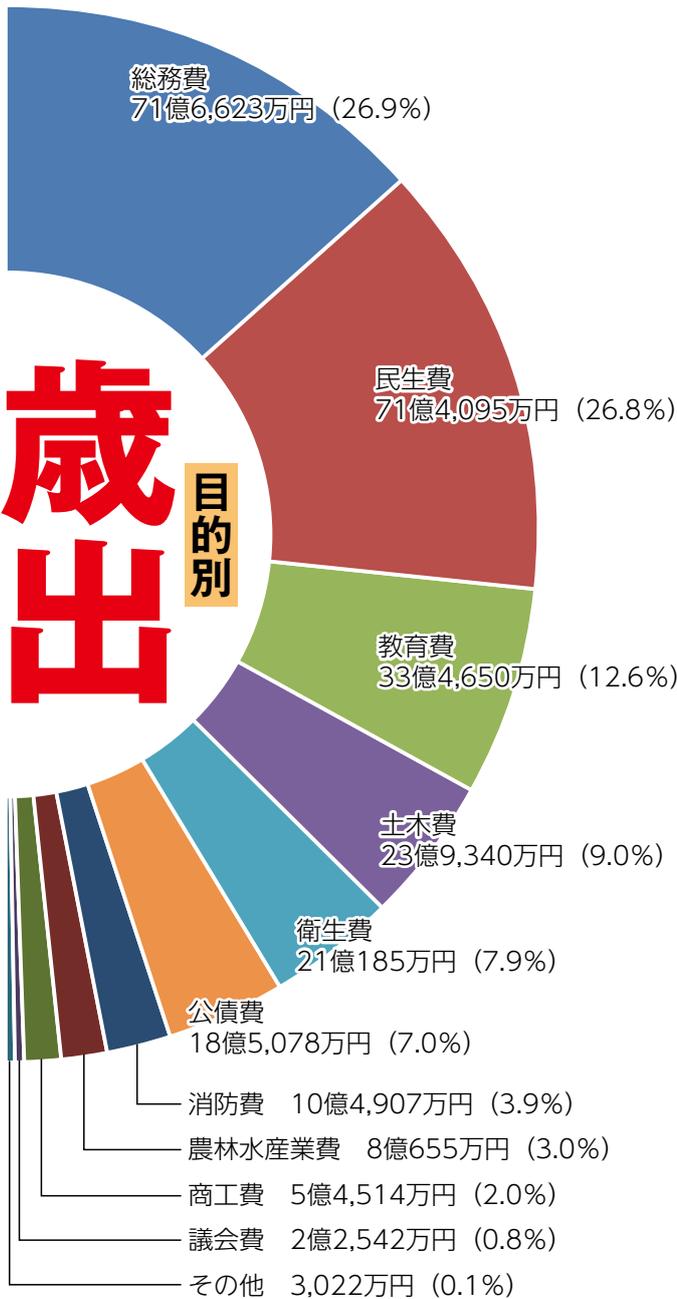


歳入は、前年度より約59億3千万円増加した決算となりました。
地方財政の自主性を確保する自主財源は、市税収入が約2億円、前年度繰越金が約3億円の減収となったことが大きな要因となり、前年度より約7億4千万円減少し、構成比は歳入全体の43.9パーセントとなりました。
依存財源については、新型コロナウイルス感染症対策として、市民一人あたり10万円を支給する特別定額給付金給付事業を実施したため、国庫支出金が大きく増収となったことにより、約66億6千万円増加し、構成比は歳入全体の56.1パーセントとなりました。

一般会計

一般会計の歳入は276億2,332万円、歳出は266億5,611万円、歳入歳出差引額は9億6,721万円となり、翌年度に繰り越す財源を控除した実質収支額は8億9,692万円となりました。

歳出 266億5,611万円



●市民1人当たりの歳出 (一般会計)

市民1人当たりに換算すると **538,181円**

総務費 144,685円

地域振興や一般事務などに使った費用



民生費 144,174円

各種福祉事業に使った費用



教育費 67,565円

学校教育や社会教育などに使った費用



土木費 48,322円

道路やまちづくりなどに使った費用



衛生費 42,436円

市民の健康管理やごみ処理に使った費用



公債費 37,367円

借入金返済や利子支払いに使った費用



消防費 21,181円

消防施設や消防団運営に使った費用



農林水産業費 16,284円

農業や林業の振興に使った費用



商工費 11,006円

観光や商工業の振興に使った費用



議会費 4,551円

市議会の運営に使った費用



その他 610円

勤労者の支援、災害復旧などに使った費用



※市民1人当たりの歳出額は、令和3年4月1日現在の人口(49,530人)で計算しています。

歳出は、前年度より約57億1千万円増加した決算となりました。

目的別で見ると、総務費が特別定額給付金給付事業の増などにより前年度と比べ約49億6千万円の増、教育費が図書館整備事業の増などにより前年度と比べ約11億1千万円の増、民生費が障がい者(児)自立支援事業の増などにより前年度と比べ約2億8千万円の増、商工費がプレミアム付商品券事業の増などにより前年度と比べ約1億8千万円の増、土木費が新型コロナウイルス感染症の影響などにより亀山駅周辺整備事業を繰越としたことなどにより前年度と比べ約9億8千万円の減となったことが主な要因です。